

あなたと議会をつなぐ

どろいん
議会だより



令和6年10月4日

9月定例会 161号

発行 三重県東員町議会

東員町議会HPはこちら▶



- 質の高い行政サービスができたか・・・2
- 9人が町政を問う・・・・・・・・・・・・・・7
- 委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・13
- 部活動で聴きました・・・・・・・・・・・・21

一般会計

質の高い行政サービスができたか!

9月定例会は9月2日から20日までの会期で開かれました。
令和5年度決算、令和6年度補正予算など 議案10件、認定6件を審査し、原案の通り認定・可決しました。

主な質疑

情報誌発行の評判は

問 「おみごとプレス」の
町民評価はどうです

か。

答 政策課 国の交付金
で1/2を負担して

いるので国にも報告が必要
です。

現在アンケート調査を行
っています。



減少する墓地使用者

問 高齢者世帯対象の家
具転倒防止対策は、実
績数が増加しています。ど
うしてですか。

総務課 1月から3

月に急増しています。
能登半島地震を受けて心配

になり、家具転倒防止の依頼
件数が増えたと思います。



空気が目立つ東員町墓地公園

問 墓地の返還が増えて
きている状況をどう
していきますか。

環境課 将来

的には「墓地公園管理
基金」の減少が予想されま

すので、抜本的に検討する
必要があります。

家具転倒防止が増加

何を委託したのか

問 地域づくり委託料の
内容を説明してくだ
さい。

地域づくり応援課

主に先進地の長野県
飯田市への視察研修費や1

年間を通じてのメールやオ
ンラインでの現場指導料で
す。



地震に備える家具転倒防止金具

令和5年度 決算認定

持続可能なまちづくり

入ったお金(歳入) = 106億5700万円
使ったお金(歳出) = 97億300万円

野良猫対策



野良猫

問 犬猫の不妊去勢手術補助を無くしましたか。住民の反応はどうですか。

答 みらい環境課 住民からの問い合わせは、ほぼ無く、実感として野良猫は減っている印象です。

危険木伐採を実施



危険木を伐採

問 緑化推進経費が大幅に増えている要因はなんですか。

答 建設課 県からの交付金を活用して、笹尾、城山地区の危険木伐採をしました。

ファミリーサポート

問 ファミリーサポートの援助会員が減っているのはなぜですか。

答 子ども家庭課 高齢化が進み、辞められる方が増えてきています。

ふるさと納税による流出



東員町返礼品の数々

問 令和5年度のふるさと納税の状況を伺います。

答 税務課 ふるさと納税による影響は、実質1千300万円ほど税収入が減っています。一方で令和5年度の受入額は約300万円です。

特別会計・公営企業会計

国民健康保険	世帯数は2984世帯が加入していますが、加入者数は減少傾向です。収支差引額は、1億6700万円の黒字となりました。
後期高齢者医療	制度運営は、三重県後期高齢者医療広域連合です。被保険者が増加傾向です。収支差引額は、800万円の黒字となりました。
介護保険	要介護認定者数は51人増えて967人。うち、サービス受給者数は859人でした。収支差引額は、3億6600万円の黒字となりました。
水道事業	電気代の高騰、上水道管理事務所の設備更新などによる支出がありました。節水意識などにより給水収益が伸びず、純損失765万円の赤字決算でした。
下水道事業	公営企業会計へ移行して初めての決算です。主な工事は、公共ます設置、マンホールポンプの更新などでした。純利益は5517万円でした。

基金に積み立ては

問 国民健康保険収支差引額1億6700万円を基金に積み立てなかったのはなぜですか。

答 保険年金課 翌年度当初の保険給付費に充当するためです。災害時などの財源不足に対応するための積立基金の残高は約3億円あります。

保険料収納状況

問 保険料の収納状況が悪化している理由は何か。

答 保険年金課 2年の時効により不能欠損金が増えました。財産の調査を進め、年金からの差し押さえもしています。



みんな元気で頑張ってまーす

一般介護予防事業費

問 一般介護予防事業費が、前年度から400万円ほど増額し659万円になっていますがどういったことですか。

答 健康長寿課 前年度は介護事業計画策定のニーズ調査をしたことや、地域ボランティアポイント制度のポイント交換などが増加したからです。



いつまでも元気でね

9月定例会

一般会計 補正予算

住民にやさしい 生活支援や施設整備など

概要

臨時特別給付金事業の増額経費や東員第二中学校体育館空調整備および総合体育館天井耐震化に係る設計事業の経費などです。



空調設置予定の二中体育館

ための設計費です。

330万円

概要

東員第二中学校体育館(指定避難所)に空調設備および発電設備を設置する

体育館にクーラー

安心・安全



改修する天井

301万円

概要

総合体育館玄関ホール天井の耐震改修のための設計費です。

危険天井を改修

安心・安全

問 何故、少し前に改修工事をした時、今回の工事が必要と分からなかったのですか。
答 社会教育課 特定天井の調査があり、総合体育館は、避難所にもなっているため、今年度に改修した方が適切と判断しました。

東員町水道事業給水条例の一部改正

主な条例

概要

今後、老朽化した施設の更新や耐震化のための財源が不足する見通しです。

将来にわたり安全な水を安定的に供給するため令和7年7月分請求から水道料金の改定を行うものです。

問 今後の水道料金の値上げはどのようになりますか。

答 上下水道課 5年毎に見直しをすることになっていきます。その時の状況で判断していきます。

問 水道検診のデジタル化は考えていますか。

答 上下水道課 令和5年度から一部スマートメーターを導入しており、今後は、費用対効果を見ながら検討していきます。

反対討論

(大崎議員)

値上げ以外で支援を

受益者負担の名のもと、公の施設使用料、給食費値上げに続く29%の水道料値上げに反対です。

執行部は一般会計などからの財政支援を含めて町民、商工業者、企業へ応援を囀るべきです。

賛成討論

(山田議員)

施設更新は必須

持続可能な水道事業の実現には、中長期の更新需要・財政収支の見通しに基づいた計画的な施設の更新や、資金の確保が必要です。よって改正は妥当と判断するので賛成します。

各議案の賛否

令和6年第5回(9月)定例会(9月2日)

○全会一致の議案○

議案名	審議結果
教育委員会の委員の任命について(再) 概要 教育委員会の委員を任命するにあたり議会の同意を求めるものです。	同意
人権擁護委員候補者の推薦について(新) 概要 人権擁護委員の委員を推薦するにあたり、議会に意見を求めるものです。	適任
令和5年度東員町水道事業会計減債積立金の目的外使用について 概要 減債積立金を目的以外に使用することについて、議会の議決を求めるものです。	可決
三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について 概要 法改正に伴い、規約の一部を変更するものです。	可決
いなべ市との旧員弁郡定住自立圏形成協定の変更について 概要 菟野町が加わる旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンに向けて、現在の協定を変更するものです。	可決
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 災害弔慰金の支給などに関し、調査審議に必要な審査会を設置する改正を行うものです。	可決
東員町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 概要 番号法などの一部改正により、被保険者証が廃止されることに伴う所要の改正を行うものです。	可決
令和5年度東員町一般会計決算認定について 概要 歳入決算額 106億5677万1千円 歳出決算額 97億313万8千円	認定
令和5年度東員町国民健康保険特別会計決算認定について 概要 歳入決算額 28億2717万6千円 歳出決算額 26億6020万2千円	認定
令和5年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について 概要 歳入決算額 4億1720万3千円 歳出決算額 4億928万8千円	認定
令和5年度東員町介護保険特別会計決算認定について 概要 歳入決算額 21億9346万9千円 歳出決算額 18億2724万3千円	認定
令和5年度東員町水道事業会計決算認定について 概要 歳入決算額 3億1215万7千円 歳出決算額 3億1981万円	認定
令和5年度東員町下水道事業会計決算認定について 概要 歳入決算額 8億207万円 歳出決算額 7億469万2千円	認定
令和6年度東員町一般会計補正予算(第3号) 概要 既定予算に歳入歳出それぞれ2億1426万3千円を増額補正するものです。	可決
令和6年度東員町介護保険特別会計補正予算(第1号) 概要 既定予算に歳入歳出それぞれ698万円を増額補正するものです。	可決

○賛否の分かれた議案・件名○

議案名・件名	議員名											審議結果			
	伊藤 まり	山田 由紀子	大崎 昭一	広田 久男	伊藤 治雄	片松 雅弘	大谷 勝治	三林 浩	山崎 まゆみ	島田 正彦	南部 豊		水谷 喜和	川瀬 孝代	三宅 耕三
東員町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について 概要 水道料金の額を改定するため、所要の改正を行うものです。	○	○	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長(—)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

一般質問

一般質問とは、町政・財政全般について町長の考えや疑問点を質す政策論議のことを言います。

ただし、議案審議(委員会など)の段階で質問できる内容は一般質問としては適当ではないとされています。

9人が町政を問う

P8 三宅 耕三 議員 ● 東員町の将来展望について

P8 山田由紀子 議員 ● 東員町の教育の現状について

P9 大崎 昭一 議員 ● 高すぎる国民健康保険料を減額することについて

P9 大谷 勝治 議員 ● 公水について

P10 南部 豊 議員 ● 当町の災害発災時の初期対応と事後の取組について

P10 伊藤 まり 議員 ● 介護保険の要支援・要介護認定に要する期間について

P10 伊藤 まり 議員 ● 「東員町障害者等日常生活用具給付事業」について
● 町民からの要望の取り扱いについて
● 多様な保育・託児サービスの充実について

P11 三林 浩 議員 ● 稼げる農業について

P11 川瀬 孝代 議員 ● 認知症支援について
● マイナ保険証の推進について
● 災害時への備えについて

P12 山崎まゆみ 議員 ● 介護現場との連携について
● 認知症の人を支えるための地域づくりについて

一般質問の内容を動画で視聴できます。

町ホームページの「東員町議会」から「録画動画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



町内の庭に咲くサルスベリ

Q. 借地料は町長報酬で支払っては A. 寄付行為にあたります



みややけ
三宅 耕三

問 中学校建設の莫大な費用が将来にわたって町民の負担になることへの町長の受け止めを伺います。

また、まだ契約できていない用地の代替地が決まるまで、相手の言いなりで遅延した責任は町長にあります。借地料を新たに支出するのは納得できません。町長報酬で支払う覚悟はありませんか。

さらに、代替地の買収ができなかった場合、この先借地契約のままになってしまふ恐れがありますが、教育長の対応を伺います。

答 町長 今後、継続して使用していくことになり、将来にわたって町民に負担いただくよう起債を活用します。

借地料を報酬で払うことは、寄付行為に当たるためできません。

答 教育長 あくまでも、代替候補地の用地買収ができるまでの期間のみ、借地契約をお願いして

います。この先は用地取得に全力を尽くし、借地契約のままていくつもりはありません。

職員の心の声

問 副町長は、上司からのパワハラから職員を守るため、公益通報制度を活用する考えはありませんか。

答 副町長 職員と管理職の対話する機会を増やし、通報者保護法も整備し、活用していきたいと思えます。

答 町長 現在、パワハラなどに対応するため、町長を首にできるような条例作りを考えてもらっています。



令和9年開校予定の中学校予定地

Q. 子育てと教育の現状は A. 改善に取り組みます



やまだゆきこ
山田由紀子

問 児童生徒の学力と、いじめや不登校の状況や、教材としてのタブレットの使用状態、個別最適化された学びの実現についてお尋ねします。

答 教育長 対象学年に依じて各3種の学力調査に取り組み、D層の児童生徒割合は10%未満を目指し、今後も、担任の授業の充実を行います。これまでの、16年一貫教育プランはブラッシュアップをしています。不登校の児童生徒は減少傾向にあり、心の健康観察はタブレットを使用しています。いじめの早期発見のために、アンケートを年4回実施しています。保護者との連携も大切にします。

待機児童の叫び

問 保育園の入園希望の問い合わせに「もっと大変なご家族もいます」などの、厳しい返答に、保護者方は離職や転職、託児所へ

と奔走するなど、日々過酷にしています。

こども真ん中政策「だれでも通園制度」は子育て世帯を支援する加速プランで、医療ケア児の支援支持もあります。

第2第3の子育て支援の居場所が必要です。

改善策をお尋ねします。

答 教育長 待機児童ゼロを目指しています。が、保育現場としては、保育士が集まらず、クラスを開設したくてもできない状況にある事を理解してください。



ドローンサッカー挑戦中

Q. 高すぎる国保料1万円減額を A. 国保料全体の抑制に努力



おおさき
しょういち
大崎 昭一

問 国保料一人1万円の減額を求めます。高すぎる国保料で高齢者は生活に困窮しています。

夫の年金200万円、妻80万円、資産割5万円の70歳夫婦二人世帯で国保料は年間約11万9千円です。水道、電気、ガスなどの公共料金、食品の高騰、お米の値上がりで爪に灯をともし思いの日常生活です。国保積立基金が約2億9千万円あります。一人1万円の減額は4500万円可能ですが、いかがですか。

全国知事会、市長会、町村会が高すぎる国保料減額のために「公費1兆円の投入」を政府に求めました。認識はいかがですか。

答 保険年金課長 保険料を軽減したいのは当然ですが、国保料全体を抑制することで、公平に軽減されるように取り組みます。

政府への請願は承知しています。町としては、国保事業の健全運営の継続に取り組みます。

支援金事業の新設を

問 「健康増進支援金事業」を創設しませんか。

大阪府能勢町では「健康増進支援金事業1万5千円」米原市は「子育て世代応援金事業」というネーミングで、国保加入世帯へ給付しています。参考にしませんか。

答 健康長寿課長 本町では同様の事業の予定はありませんが、町民が自らの生活習慣に目を向け、地域との連携や支え合いによる支援の仕組みづくりなどの環境づくりに役割を果たしていきます。



Q. 四日市市との取水協定は A. 日量3万m³以下



おおたに
かつじろ
大谷 勝治

問 公水とは河川の水や地下水など公共のため利用される水のことだとする見解もあります。東員町の飲み水は地下水100%でまかなわれています。そのことから、地下水や水源地などをどのように保全していくのかを伺います。

地下水取水について四日市市との協定も伺います。また、河川のPFASの検査について伺います。

答 上下水道課長 地下水の考え方につきましては、本町を含めた自治体や企業が自らの費用で地下水を取水し使用することには基本的には制限はかけられません。地下水の利用者は、地下水などを保全する責務があります。

平成26年度からは、東員町全域を水源保護地域に指定し、保全に努めています。四日市市と平成22年「取水協力費請求事件」の和解が成立し、平成26年4月1日に東員町地内からの取水協定を締結しました。

協定内容は四日市市が東員町地内から取水する量を、日量3万m³以下としました。

河川のPFAS調査は

問 河川のPFASの検査について伺います。

答 上下水道課長 河川におけるPFASの調査につきましては、環境審議会での調査の見直しを検討した結果、PFASについて、調査を実施することになりました。戸上川の戸上橋付近で、10月に調査を予定しています。



小川で水に親しむ

Q. 発災時の初期対応と事後取組は A. 自助の取組と備えが重要



南部 豊
なんぶ たかひこ

問 災害時には、最も必要とされる水環境整備問題。飲料水と生活用水の確保に対する対処方法を伺います。

答 総務課長 発災時には、3日間で必要な飲料水を15万2000ℓと想定し、中部公園・三和小学校・笹尾中央公園に耐震性貯水槽で、30万ℓの飲料水を確保。ペットボトルの保存水を2800ℓ備蓄しています。

問 生活用水の必要性について、事業者さんの協定以外にも、町内には自噴している自噴井が40数か所あります。プライバシーを配慮した上で個人協定などの制度づくりができませんか。

答 総務課長 町外からの応援要請などで対応していきます。能登半島地震でも井戸の所有者が自らの被災者へ開放し、大変助かったとの事例もあり、また、県内にも幾つかの自治体が個人と井戸の協定

を結んで公表している事例も聞いています。しかし、公の施設以外にある個人の井戸を事前に公表することには色々な配慮が必要と思われる、トラブルがないよう他市町の事例を踏まえ考えていきます。



自らを守る 備蓄品チェックリスト

災害緊急バイク隊は

問 道路網などに被害が出た場合。通行車両に制限が出ます。提案ですが、緊急災害自転車隊やバイク隊など、小回りがきき、各地域との連絡や状況把握などが出来ます。いかがですか。

答 総務課長 災害の規模が想定できない時には有効に感じます。色々な課題もあり慎重に検討します。

Q. 給付品目の拡充を A. 上限額を含め、検討します



伊藤 まり
いと まり

問 「東員町障害者等日常生活用具給付事業」は、障がいのある方などの日常生活を円滑にする用具を給付する事業です。給付品目を見直していますか。

答 地域福祉課長 できるだけ給付できるように対応しています。品目や上限額はここ数年は見直していません。

問 だっこ補助具や生活を支援するアプリなど、新しい製品やサービスを品目に増やしてはいかがですか。

答 地域福祉課長 新しい機能のある用具や上限額、支援体制を含め障害者協議会で検討します。

問 障害者協議会の委員に当事者や家族は参加していますか。

答 地域福祉課長 今は当事者や家族の参加はありません。困りごとなどを直接聞けるという点で参考になると考えます。次の改選時に検討します。

要望の取り扱い

問 役場に寄せられる要望への対応状況はいかがですか。

答 総務課長 「東員町要望等に関する取扱要望」に関する取扱要望等「文書によらない要望等に関する取扱要望」に基づき対応しています。

問 「東員町要望等に関する取扱要望」を公開してはいかがですか。また、対応したことがわかるようにしてはいかがですか。

答 総務課長 「取扱要望」を見直し、公表を検討します。修繕などの対応をデジタル地図等で集約するよう検討します。



だっこ補助具

三林 浩



Q. 稼げる農業とは A. 持続可能な農業を進めます

問

本町の農地面積は722haで、総面積の約3割を占めています。そのうち605haが土地利用型の水田農業として利用され、主要作物として米・小麦・大豆の生産が約9割を占めています。

今後、農業者が高齢化で減少する中、本町としてどのように「稼げる農業」に向かっていくのか伺います。

答

町長 本町の土地利用は、都市計画法や農地法で厳しく制限されており、農地以外に活用できる土地は、ほとんどなく、加えて、生産性に極めて乏しく、農業で生計を立てるには厳しい状況にあると考えます。そこで、先ず取り組んだのは、町の特産物になりうる付加価値のある品目、ブドウ、ブルーベリーの栽培でした。

実証試験を経て農福連携の福祉事業所に事業継続を行っています。



6次産業化の早期実現

また、ブドウ栽培のハウスを増築してくれるよう事業者と話を進めており、将来的には、観光農園化し、本町の特産品になるよう取り組んでいきます。

現在は「大豆」に着目し、6次産業化に向けた取り組みをしています。

農業を取り巻く環境は、厳しいですが本町の重要施策として「稼ぐ」ことにより持続可能な農業になるための取り組みを進めていきます。

川瀬 孝代



Q. 災害時への備えは A. 対策の見直しに努めます

問

能登半島地震では、トイレの問題が顕在化しました。介護、障害福祉施設の携帯トイレの備蓄はどのようですか。

また、地震から命を守るためには、住まいの耐震化が重要になります。

木造住宅の居間や寝室などの一部の部屋を補強する「耐震シェルター」の設置への考えはどのようですか。

答

総務課長 各避難所に仮設トイレとトイレ用テント、トイレ処理剤を1万回分備蓄しています。避難所の仮設トイレが開始されるまで、トイレトーパー、紙オムツ、おしり拭きなど備蓄を計画的に進めていきます。

福祉避難所となつてます各法人施設は「ポータブルトイレ」を備蓄しています。

「耐震シェルター」は、三重県では、地震対策のための設置補助が始まっています。町としても耐震支援の拡充を令和7年度から実施でき

るよう制度の見直しをしています。

認知症支援を

問

認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法である「ユマニチュード」の普及への考えはどのようですか。

答

健康長寿課長 令和3年度から介護を行う家族が知識や技法を習得するため、家族介護教室の一部で取り入れています。事業者などと連携し、意見を伺いながら、普及について検討していきます。

※「ユマニチュード」…「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを柱としてケアする人と受ける人とが良好な関係を築くこと。



ポータブルトイレ

山崎まゆみ



Q. 認知症支援の地域活動は A. 活躍の仕組み作りをします

問 認知症のある方とご家族を支える地域づくりについて、お伺いします。

国の施策に基づき、「チームオレンジとういん」を町で立ち上げられましたが仕組みづくりはどうしていますか。

答 健康長寿課長 令和4年に発足以来「まめまちカフェ（認知症カフェ）」や9月のアルツハイマー月間に合わせ、図書館のコーナー設置や「オレンジランプ」上映会など、積極的に活動に取り組んでいます。今後も行政として活動のバックアップを進め「認知症地域支援推進員」や「初期集中支援チーム員」「地域包括支援センター」と連携しながら、認知症の方とご家族のニーズを的確に把握し、具体的に必要な支援をメンバーと共に検討していきます。

介護現場との連携は

問 市町が指定権者になっている、地域密着型介護施設の運営体制のチェックと人材不足解消はどうしていきますか。

答 健康長寿課長 75歳以上の後期高齢者の増加の一方で介護人材不足や物価高騰など厳しい状況です。介護サービス利用者の尊厳を守り、かつ質の高いサービス提供のため、本町で日々献身的にサービスを支えていただく介護現場に対する運営指導を実施しています。業務効率化やテクノロジー導入など、国の財源活用の周知も行っていきます。



まめまちカフェ（認知症カフェ）

追跡 あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

書かない・待たない・回らない

Q 申請手続きで記入することなく交付が受けられる窓口の設置はどうか。
(令和5年3月議会 一般質問)

A 先進地事例などを参考にしながら導入に向けた検討を進めていきます。

こうなりました

来庁者の負担を軽減するように総合窓口を新設しました。

(令和6年4月開始)



ネオポリスの再生

(兵庫県三木市)

全員協議会 視察研修：8月7日(水)

三木市は、昭和45年頃からニュータウン開発が進展し、人口が増加したものの、現在は高齢化が進行し、空家課題など本町と類似しています。

市は「継続して住み続けられ、若い世代を呼び込む住宅団地への再生計画」を策定し取り組んでいます。

事業推進は、民間活力を導入し協議会などを設置することや、住民の意見を聞き、計画的に事業推進を図る再生手法を学びました。



議員全員と東員町職員 10名も参加

議会による行政の評価は

(兵庫県洲本市)

全員協議会 視察研修：8月8日(木)

前年度に実施された各種事業を評価し、翌年度予算に反映させるため、事務事業評価先進地の洲本市を視察しました。

洲本市では「議会だより」や「議会ホームページ」で評価結果を積極的に発信しています。問題のある事業に対しては休止や廃止の指摘を積極的に行うべきであると感じました。



全員協議会（議員全員）で学びました

月1万円の政務活動費を有効活用

全員協議会 勉強会：8月23日(金)

講師：高沖秀宣氏(自治体議会研究所代表)



政務活動費の使途基準と、支出のポイントを学びました。

政務活動費は、議員報酬の追加支給ではなく、議会力を強化するために「主権者は町民」という観点からみると、東員町議会の使途基準は、町民置き去りとの指摘がありました。

本来の目的は「調査研究」であり、全額を資料購入費（新聞購読料）や個人の活動報告は、本来議員報酬で支払うものであるとのアドバイスがありました。

今後は、使途基準を早急に見直し、町民のための政策提言につながる活用をしていきたいと思います。

防災計画(地震編) & 空き家対策

総務建設常任委員会 勉強会：7月19日(金)

災害発生時の初期対応は町民の皆さんにとって最も重要であり、能登半島地震の経験の中でも、飲料水と生活水の必要性を皆さんも実感されたことと思います。

現在、中部公園・三和小学校・笹尾中央公園に30万ℓの耐震性貯水槽で確保しております。

生活水としては、町内には、50カ所弱の自噴している井戸水があり、大切に守って行く必要があります。

今回、空き家の現状についても担当課より説明を受け、現在、空き家は324件。老朽危険度が高いとされるA判定が19件。現状が悪化しないよう維持し、注視して行く必要があります。



少子化対策

(岡山県奈義町)

教育民生常任委員会 視察研修：7月30日(火)

奈義町は「子育て応援宣言」を打ち出し、合計特殊出生率2.95（2019年）と全国でもトップクラスの数字を出した町です。

人口減少対策として、目標を「今後も現在の人口を維持する」と明確化し、その対策として切れ目のない支援を行っています。

- ①住宅支援（住む環境）
- ②就労の場の確保施策（働く環境）
- ③子育て支援（産み育てる環境）

取り組む姿勢は、本町も見習うところがあり委員会として提言していきたいと思えます。



廃園を利用したチャイルドホーム

こども医療費&給食費無償化 (兵庫県明石市)

教育民生常任委員会 視察研修：7月31日(水)



明石市は、11年連続人口増で独自の子育て支援に力を入れています。

- ①子ども医療費の無償化
- ②第2子以降の保育料完全無償化
- ③0歳児におむつを無料で届ける（計10回）
- ④中学校給食費無償化
- ⑤公共施設入場無料

いずれも所得制限なしで行っています。

この独自の施策の根底には、交付金などのバラマキは子どもに届かない場合があるので「子どもに届く支援がしたい」という前市長の強い意思が伝わりました。

本気度（やる気）の重要性を東員町でも実行していきたいと思えます。

住民に読まれ 伝わる議会だよりに

広報広聴常任委員会 講習会：8月20日(火)



全国の広報研修会講師や議会広報コンクール審査員などを務める、広報誌づくりのプロフェッショナルと言える芳野政明氏の研修を受けてきました。

議会の果たす役割(行政監視・評価・提言)などがよくわかる、伝わる議会だよりに改善するノウハウを学びました。

他市町の議会広報誌を織り混ぜた講義は、とても分かりやすく、見た途端に読む気にさせる見本例の出来映えには衝撃を受けました。

「とういん議会だより」を、一層向上させるヒントを得た研修で、今後の広報誌づくりに活かしたいと思います。

このままでいいのか！ 将来の北勢線を模索

北勢線対策検討特別委員会 7月18日(木)/8月5日(月)



三岐鉄道北勢線は、通勤通学や生活基盤を支える大切な交通手段ですが、赤字が続き平成15年度より桑名市・いなべ市・東員町の沿線市町で、赤字の暫定支援を行っています。

決して廃線ありきではなく、自立運営での存続を1番に、経営改善や新交通システムを調査研究しながら沿線の市町や事業運営者に提案提言していく『特別委員会』です。

本年度の年間計画は、沿線市町の議員との意見交換など前向きな調査検討を行っていきます。

視察受入 6月26日(水) おきたま 山形県置賜地方議長会

本町の議会改革を説明

山形県置賜地方町村議会議長会から、議長5名と同行者含めて10名が、議会活性化研修のため来庁されました。

令和4年に、東員町議会が全国町村議会議長会から「全国特別賞」を受賞したことから、説明は、当時の議長（三宅議員）が担当しました。

議会報告会、住民からの意見収集、反問権の効果、議会だよりの最速発行の手法、議員間討議の重要性などを説明し、活発な意見交換が行われました。



視察受入 7月25日(木) 広島県世羅町議会

議会だよりに込める熱意を説明

広島県世羅町議会の広報広聴常任委員など8名が「議会だよりの編集について視察研修に来られました。

「とういん議会だよりの編集ポイントは、

- ①読む人が一番分かりやすい文章を、委員全員で納得するまで読み合わせて仕上げる。
 - ②読みたくなる見出し、目を引く写真など、委員全員で知恵と工夫を出し合う。
 - ③全国トップクラスのスピード発行(定例会閉会後の翌月第1金曜日)を必須使命としている。
- など、広報広聴委員会の熱意を広田委員長が説明し、お互いに実のある研修となりました。



う 議会 です

市民活動支援センターと意見交換

8月3日(土)



市民活動センター登録団体の30代～70代の町民18名にご参加頂きました。

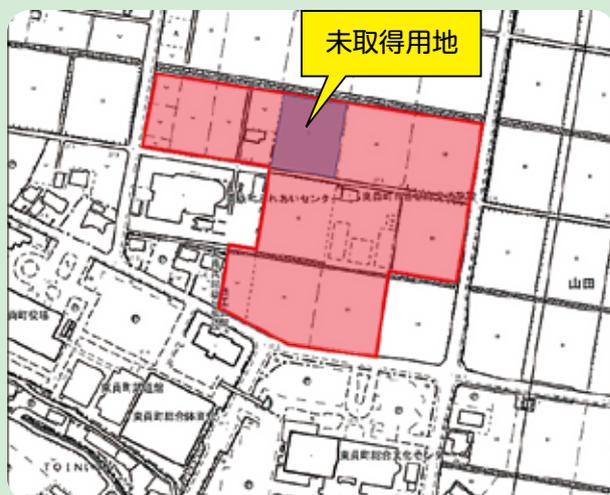
3グループに分かれ、車座対話で参加者全員から、生の声をつぶさに聴かせていただきました。付箋に書かれたご意見・ご質問をフィードバックしていきます。

新・東員第一中学校建設 用地取得に問題発生

令和9年4月開校を目指して進めている東員町の一大事業である「新・東員第一中学校建設事業」用地の一部が、いまだに取得できていないことがわかりました。

町当局から、用地取得ができるまでの期間限定で、借地契約をしたうえで工事着手したい旨の申し出がありました。

そこで、議会としては、重大な問題だと受け止め、町長・教育長にはトップとして責任をもって解決するよう強く求めました。



赤枠は一中建設用地

住民に寄り添

長深地区と意見交換

8月16日(金)

「法話」「ビンゴゲーム」と多忙な計画の中、「法話」のあとに、意見交換会の時間を設けて頂きました。

せっかくなので「法話」からお邪魔させていただきました。

皆さんの顔を見て意見交換ができなかったのが意見がでるか心配しました。

議事進行の方が最初に意見し、上手く進行することができ、時間も予定より大幅に経過して大変盛り上がりました。



南大社地区との意見交換

8月23日(金)

「みなみカフェ」にお伺いし「東員町議会」「行政」をどう思っているか、自由活発な意見交換をしました。

あっという間に約束の時間が過ぎ、お話の途中で切り上げることになりました。



シニアクラブ会長から「いつでも来てください」と言葉をかけていただき「来てよかった」と勇気づけられました。

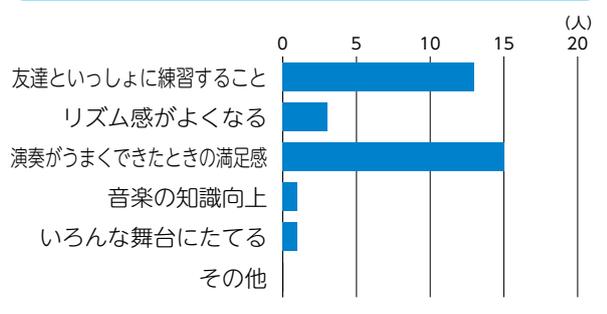
東員第二中学校吹奏楽部で聴きました♪



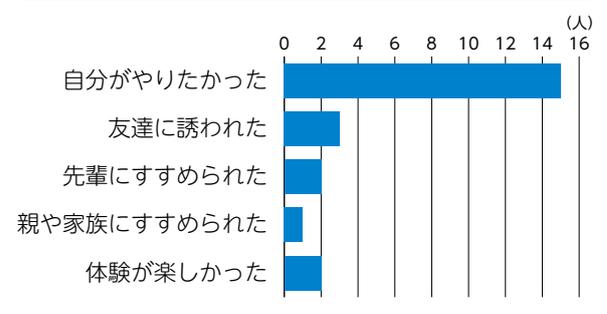
☆質問項目

- ①部活動の楽しいこと ②部活動に入った理由 ③部活動の大変なこと ④部活動で得たことは ⑤一言コメント

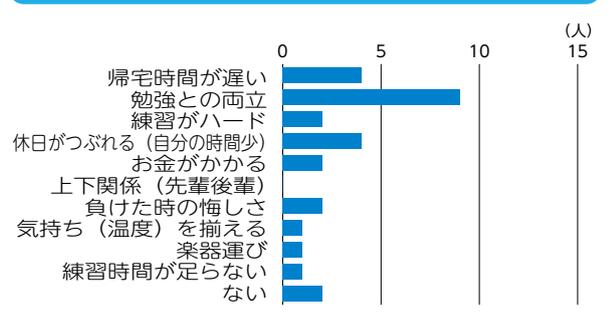
①部活動の楽しいこと (複数回答あり)



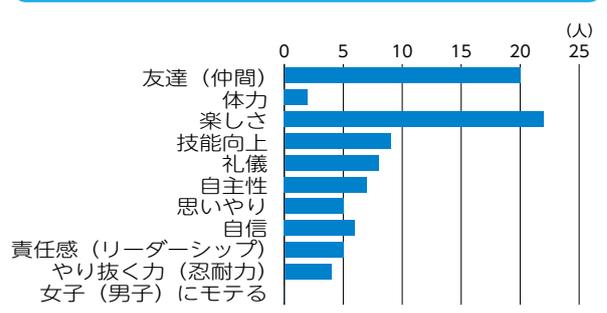
②この部活動に入った理由



③部活動の大変なこと (複数回答あり)



④部活動で得たこと (複数回答あり)



⑤一言コメント

■賀数さん(2年、部長)
先輩が作ってくれた楽しい雰囲気を守っていききたいです。

■隠岐さん(2年、副部長)
音を重ねて曲を作っていくところが楽しいです。

■柳川さん(2年、副部長)
みんなと練習して、演奏会をやりきったときが楽しいです。

■川島さん(2年)
たくさん音楽知識を身に付けたいです。

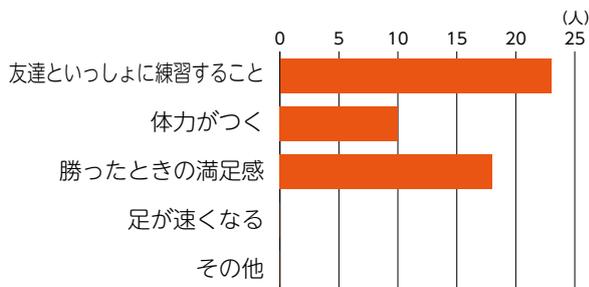


東員第二中学校女子卓球部で聴きました!

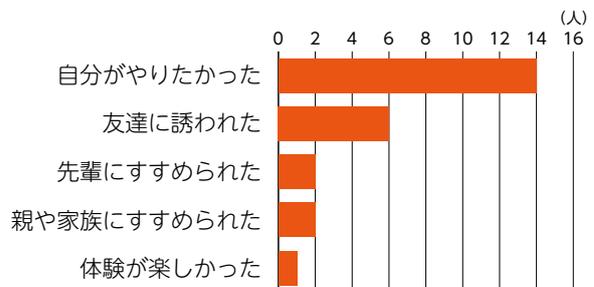


ご協力くださいました皆さん、ありがとうございました!

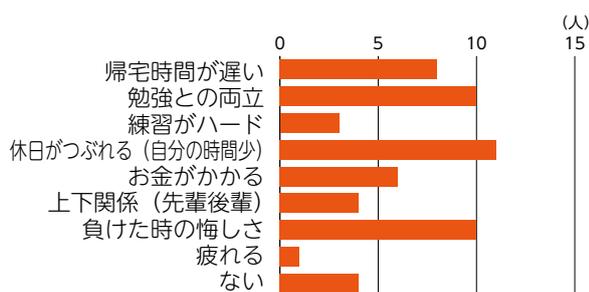
① 部活動の楽しいこと (複数回答あり)



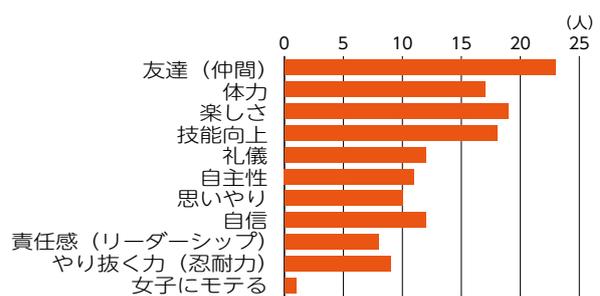
② この部活動に入った理由



③ 部活動の大変なこと (複数回答あり)



④ 部活動で得たこと (複数回答あり)



⑤ 一言コメント

■ 片山さん(2年、主将)

チームを同じ目標に向かって引つ張っていきたいです。

■ 水越さん(2年、副主将)

主将をサポートし、新人大会優勝をめざします

■ 朝日さん(2年、副主将)

上下関係なく、仲が良すぎて、先輩が言うことを聞いてくれないです。(笑)

■ 堀川・堀田さん他7名

体育館にクーラーをつけてください。暑いです!!



議会クイズ

問題の答えはすべて議会だより
の中にあります。

よく読んで答えてください。

問1 9月定例会の会期は9月2

日から何日まででしょうか。

問2 一般質問をした議員は何人

でしょうか。

問3 政務活動費の勉強会講師は

誰でしょうか。

▼応募方法／官製はがきまたは封

書に、答え・住所・氏名・年齢・

電話番号を記入し、また議会へ

ご意見、ご感想などありましたら、

一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二九五

東員町山田一六〇〇番地

東員町議会事務局

▼締切り／令和6年10月31日

(※三日消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方

に図書カードをプレゼントします。

※ご記入いただきました個人情報につい

ては、賞品発送および読者の声などの

目的以外には一切使用いたしません。

ただし、行政側に対するご意見・ご質

問などの場合は、その内容に応じ、担

当課から報告または回答をさせていただきます

場合もあります。

東員町産ブドウ大収穫



農福連携の「シグマファーム東員」では
36名の方が就労しています。

長深のビニールハウスではブドウを栽培
しています。

お盆前から始まった「デラウェア」の収
穫は秋に本番を迎えます。大切に育ててき
た「巨峰」「シャインマスカット」「ク
イーンニーナ」は高糖度でおいしくて大人
気です。

東員イオンなどで販売されています。

あま〜いブドウ 食べてほしいな〜

まちの話題

編集後記

▼初めての議会活動で、広
報広聴常任委員会副委員長
となり、悪戦苦闘しながら
頑張っています。

▼9月議会定例会は、令和
5年度一般会計・特別会計
の決算認定と、今年度の補
正予算の審議もありました。
▼議会では、予算が適切に
使われたのかを審査し、実
態を皆さんにお知らせする
役割があります。『議会だ
より』で、できるだけ分か
りやすくお伝えしようと、
委員全員で何度も集まり、
文章を吟味して編集しまし
た。

▼私が目指したいのは、
「ファッション雑誌のよう
に目を引く誌面」「斜め読
みでも分かる文面」です。
▼『議会だより』で、町行
政の実態を分かりやすくお
伝えし、皆さんに行政や議
会に関心をもってもらいた
けるよう努力します。
▼皆さんからのご意見やご
助言をお願いします

(伊藤 共(一))

議会広報広聴常任委員会

委員長／広田 久男
副委員長／伊藤 まり
委員／片松 雅弘 三林 浩
山崎まゆみ 三宅 耕三

次回の定例会は
令和6年12月2日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。